

学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ) リニューアルの背景と要点

公的資金研究成果物即時オープンアクセス義務化を見据えて

2024年9月26日

JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会 SCPJチーム

本日の内容

- 1. リニューアルの背景
 - ①即時OA義務化について
 - ②グリーンOAにおける著作権上の課題
 - ③SCPJのこれまで
- 2. SCPJの抱える課題
 - ①メンテナンス体制
 - ②データ項目
- 3. 課題への対応
- 4. 今後の活動予定

本日の内容

- 1. リニューアルの背景
 - ①即時OA義務化について
 - ②グリーンOAにおける著作権上の課題
 - ③SCPJのこれまで
- 2. SCPJの抱える課題
 - ①メンテナンス体制
 - ②データ項目
- 3. 課題への対応
- 4. 今後の活動予定

学術論文等のオープンアクセス化の推進

“公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者（法人を含む）に対し、**該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づける。**”

— 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針（令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定）」
（https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf）より抜粋

- 国際的に類似のOA義務化政策が進行
- ゴールドOA・グリーンOA両方で対応が必要

グリーンOA推進のボトルネック「著作権ポリシー」

- OA加速事業等でリポジトリ関係のシステム開発/連携は進行
 - 著作権ポリシー情報の確認作業がグリーンOA・セルフアーカイブのボトルネックに
- 著作権ポリシーに関連する課題
 - 出版バージョンごとに異なる利用条件
 - 出版社版と著者最終稿で利用条件が異なり、入手可能な版に関する条件を知る必要がある。
 - 公式情報の確認作業
 - ポリシーに関する公式な情報を探すことや出版社へ確認することに少なくない労力が割かれる。
 - ポリシー情報が検討されていない/不足している
 - 中小規模の学協会の場合、ポリシー自体が検討されていないことがあり、何らかのポリシーが投稿規定などに記載されている場合もグリーンOAにするのに情報が不足していることがある。現在(2024.8)の政府方針では、掲載誌のポリシーが不明な論文は即時OA義務化の対象から外れる。

→ポリシーデータベースや学協会への普及活動の必要性が増している

SCPJとは

- 日本国内の学協会等のOA方針を調べられるデータベース
 - 日本国内のほぼ全ての学協会（『学会名鑑2007～2009年版』に掲載された団体及び日本学術会議協力研究団体）約2100団体を対象として実施したアンケート調査の結果に基づく。
 - 「OA方針を決めていない」といった回答や未回答も一つの「方針」と見なしデータとして提供することで、国内学協会のOAへの対応状況を俯瞰。
 - 学協会からの申し出により更新をするもので、現在国内学協会約2000団体以上のOA方針を掲載。

SCPJの来歴

- 2006年から国立情報学研究所のCSI委託事業として筑波大学・千葉大学・神戸大学の3大学で始動（2008年から東京工業大学が加わり4大学で運用）。国内の学協会に対して網羅的に調査を行い、得られた回答を元にデータベースを構築。
委託事業期間（2006-2012年度）には、学協会への再調査によるデータメンテナンスやAPI開発等も行っていった。
- 委託事業期間終了後は、継続的な運用にあたって機関側の負担が問題に。
- 2019年度にJPCOARが運営を引き継ぎ、Googleスプレッドシートへデータを移行。
- 2013年度から多くのデータが更新されていなかったため、2021年度に大規模な再調査を行い、データメンテナンスを行った。

→**CSI事業終了後は機能性の維持やデータメンテナンスで課題を抱える**

本日の内容

- 1. リニューアルの背景
 - ①即時OA義務化について
 - ②グリーンOAにおける著作権上の課題
 - ③SCPJのこれまで
- 2. SCPJの抱える課題
 - ①メンテナンス体制
 - ②データ項目
- 3. 課題への対応
- 4. 今後の活動予定

メンテナンス体制の課題

- **運営負担が大きい**

CSI委託事業終了後、サーバー維持コストやデータ更新の労力の面で一部の機関のみで維持していくことが難しい状況になった(※)。JPCOARに引き継がれてからも、発足当初のような大規模な調査を頻繁に行うのは、人員・費用の両面で課題が残る。

※松村 友花 (2020).次期JAIRO Cloud (WEKO3) と国内外のリポジトリの最新動向「SCPJの移行」, 学術情報基盤オープンフォーラム2020. https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/Contents2_07_Matsumura.pdf

- **更新データが反映されにくい**

学協会から直接得た回答を元にしてしているため、ウェブサイト等でポリシーを公開していない場合は更新の有無を確認できない。
また、公開情報がある場合も学会誌編集者の中で著作権ポリシーの提供について引き継がれていない等の理由で、更新ポリシーがSCPJに提供されないままになっているケースがある。

データ項目の課題

• ポリシーカラーが分かりにくい

SHERPA/RoMEO（国際的なジャーナルポリシーデータベース）で用いられているSHERPAカラーを独自にアレンジしたポリシーカラーでジャーナルポリシーを分類していたが、学協会には理解されにくく誤解を生んでいると指摘されていた※。なお、ゴールドOAの台頭によりポリシーの制限が複雑化したことで、カラーでの表示に限界があるとしてSHERPA/RoMEOはカラー分類を廃止している。

学協会の著作権ポリシー凡例

- Green…査読前・査読後のどちらでもよい
- Blue…査読後の論文のみ認める
- Yellow…査読前の論文のみ認める
- Gray…検討中・非公開・無回答・その他
- White…リポジトリへの保存を認めていない

※SCPJデータメンテナンス結果報告(2021) <https://doi.org/10.34477/0002000077>

• 学協会単位のポリシーとジャーナル単位のポリシーが混在している

学協会の親ポリシーとジャーナルの個別ポリシーが併記されており、どちらを確認すればよいか分かり難く、またラベルの表記自体も読み取り難い。

本日の内容

- 1. リニューアルの背景
 - ①即時OA義務化について
 - ②グリーンOAにおける著作権上の課題
 - ③SCPJのこれまで
- 2. SCPJの抱える課題
 - ①メンテナンス体制
 - ②データ項目
- 3. 課題への対応
- 4. 今後の活動予定

2023年度よりSCPJのリニューアルの検討開始

【これまでの取り組み】

<2023年度>

- 二次利用ライセンスの設定
- リニューアルの方向性検討
- データ項目の見直し
- メンテナンス体制の検討

<2024年度>

- ポリシー提供フォーム、新SCPJデータベースを作成
- 現行SCPJのデータを新SCPJデータベースに反映 →新SCPJ (β版)
- 新規フォーマットでの著作権ポリシー提供ガイドライン作成

①機械判読可能なデータ項目への見直し

各機関リポジトリにおいて登録作業の増加が懸念され、ポリシー情報の確認作業省力化が求められている。現行SCPJは、正規化された条件が表現できず、人間にとっても煩雑で確認しにくいものとなっていたため、機械判別可能なレベルまで整理することを目標に下記の見直しを行った。なお、見直しにあたってはSHERPA/RoMEOに近い情報量を確認できるよう配慮した。

- ◆ポリシーのカラーリボンを廃止し、出版バージョンごとにポリシーを設定
- ◆出版モデル、即時OAの対応状況についてもフラグ化
- ◆学協会単位のポリシーを廃止し、ジャーナル単位のポリシーに一本化
- ◆データの正規表現、データベースの正規化

新項目リスト(ジャーナル情報/学協会情報)

- 改定ポイント
 - 項目名の重複を排除
 - ジャーナルごとのポリシー設定に一元化するため、学協会単位のポリシーを廃止
- 廃止項目
 - 「ルビ」 ※ジャーナルルビ
 - 「ISSN」、「ISSN2」、「NCID」、「NCID2」
 - 学協会単位の著作権ポリシー（「個別ポリシー」、「ポリシー」、「公開場所」、「公開条件」、「備考」、「公開規則URL」）

新SCPJ項目コード	新SCPJ項目名	現行SCPJ項目名
Journal_ID	ジャーナルID	ID
Journal_Title	ジャーナル名	名称
Journal_Title_Alias	ジャーナル別名	別名
Journal_Title_En	ジャーナル英語名	(新規)
Journal_URL	ジャーナルURL	WEBサイトURL
ISSN-L	ISSN-L	(新規)
PISSN	PISSN	PISSN
EISSN	EISSN	EISSN
DOAJ	DOAJ	(新規)
OAType	OAタイプ	(新規)
OAType_Notes	OAタイプ備考	(新規)
Policy_URL	ポリシーURL	公開規則URL
NonEmbargoOA	即時OA対応	(新規)
Society_ID	学会ID	学協会ID
Society_Name	学会・団体名	名称
Society_Name_En	学会・団体英語名	(新規)
Society_URL	学会URL	(新規)
Society_Contact_URL	学会お問合せ先URL	(新規)
Meikan_URL	学会名鑑URL	学会名鑑URL (※)

新項目リスト(ジャーナルポリシー情報)

改定ポイント

- 現行SCPJでは、出版社版と著者最終稿のうち利用可能な片方のみのポリシーを表現。



出版社版、著者最終稿、プレプリント各版の利用について表現できるよう改定

- 現行SCPJでは、掲載場所や掲載条件について一つのセル内に複数の情報が掲載されている



1セル1データとなるよう分割し、機械判読しやすくなるよう改定

- SCPJの情報を根拠としてセルフアーカイブしてよいか「SCPJデータの適用」欄で表現し、学協会への確認を省略する余地を持たせた。

新SCPJ項目コード	新SCPJ項目名	現行SCPJ項目名
Published_CopyrightOwner	著作権者(出版社版)	(新規)
Published_Licence	ライセンス情報(出版社版)	(新規)
Published_Archivability	掲載可否(出版社版)	出版社版の利用
Published_Location_IR	掲載場所(出版社版)_機関リポジトリ	(新規)
Published_Location_Author	掲載場所(出版社版)_著者ウェブサイト	(新規)
Published_Location_Funder	掲載場所(出版社版)_助成機関指定先	(新規)
Published_Location_NonCommercial	掲載場所(出版社版)_非営利電子論文アーカイブ	(新規)
Published_Location_Others	掲載場所(出版社版)_その他	(新規)
Published_Embargo_General	エンバーゴ(出版社版)_一般	(新規)
Published_Embargo_Funded	エンバーゴ(出版社版)_助成研究	(新規)
Published_Terms_Copyright	掲載条件(出版社版)_著作権表示	(新規)
Published_Terms_By	掲載条件(出版社版)_出典表示	(新規)
Published_Terms_Link	掲載条件(出版社版)_リンク表示	(新規)
Published_Terms_Notes	掲載条件(出版社版)_備考	(新規)
Accepted_CopyrightOwner	著作権者(著者最終稿)	(新規)
Accepted_Licence	ライセンス情報(著者最終稿)	(新規)
Accepted_Archivability	掲載可否(著者最終稿)	(新規)
Accepted_Location_IR	掲載場所(著者最終稿)_機関リポジトリ	(新規)
Accepted_Location_Author	掲載場所(著者最終稿)_著者ウェブサイト	(新規)
Accepted_Location_Funder	掲載場所(著者最終稿)_助成機関指定先	(新規)
Accepted_Location_NonCommercial	掲載場所(著者最終稿)_非営利電子論文アーカイブ	(新規)
Accepted_Location_Others	掲載場所(著者最終稿)_その他	(新規)
Accepted_Embargo_General	エンバーゴ(著者最終稿)_一般	(新規)
Accepted_Embargo_Funded	エンバーゴ(著者最終稿)_助成研究	(新規)
Accepted_Terms_Copyright	掲載条件(著者最終稿)_著作権表示	(新規)
Accepted_Terms_By	掲載条件(著者最終稿)_出典表示	(新規)
Accepted_Terms_Link	掲載条件(著者最終稿)_リンク表示	(新規)
Accepted_Terms_Notes	掲載条件(著者最終稿)_備考	(新規)
Submitted_Archivability	掲載可否(プレプリント)	(新規)
Submitted_Location_IR	掲載場所(プレプリント)_機関リポジトリ	(新規)
Submitted_Location_Author	掲載場所(プレプリント)_著者ウェブサイト	(新規)
Submitted_Location_Funder	掲載場所(プレプリント)_助成機関指定先	(新規)
Submitted_Location_NonCommercial	掲載場所(プレプリント)_非営利電子論文アーカイブ	(新規)
Submitted_Location_Others	掲載場所(プレプリント)_その他	(新規)
Submitted_Terms_Notes	掲載条件(プレプリント)_備考	(新規)
Applicability	SCPJデータの適用	(新規)
Update	データ確認日	データ確認日

著作権ポリシー提供ガイドライン

- 各項目の入力ポイントの解説

SCPJ著作権ポリシー提供ガイドライン
ver. 1.0.*

【ジャーナル情報の登録・修正】

- 学会ID Society_ID
学会IDが未登録の場合は、先に学会情報の登録・申請プロセスから登録してください。
- 学会・ジャーナル登録完了
- ジャーナルサブタ
- ジャーナル
- ISSN ※(選定するもの)

<各OAモデル解説>

「フルOAモデル」
すべての論文を出版側でオープンアクセスにしているモデルです。著者側がAPC(Article Processing Charge: 論文掲載公開料)を支払うゴールドOAが主流ですが、研究機関、公的助成機関、出版社、学会等が資金提供することにより、著者や読者の費用負担がないダイヤモンドOAが国際的に注目され始めています。

「ハイブリッドモデル」
一部の論文がオープンアクセスとなっているモデルです。APCが支払われた論文のみオープンアクセスとなるケースが主流で、APCを支払わなくても出版できるメリットはありますが、研究機関は購読料を払い続ける必要があり、APCと購読料の二重取り(ダブルディッピング)の問題が指摘されています。購読料をAPCに段階的に移行させる転換契約によりフルOAモデルへの移行が進められているジャーナルもあります。

「購読モデル」
購読料や学会費を原資に運営され、論文が一般に公開されない出版モデルです。紙媒体のジャーナルは、すべてこのモデルに該当します。商業誌や紙媒体の場合、機関リポジトリ等でフルテキストが公開されない限りオープンアクセスとならないことが多いですが、オンラインの学会誌は一定期間経過後にオープンアクセスになるものもあります。

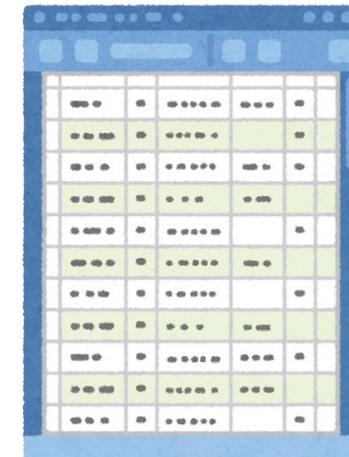
「その他」
上記以外のモデルを指します。OAタイプ備考に説明を記入してください。

ポリシー提供フォーム入力及びSCPJ活用デモ

- 著作権ポリシー提供フォーム（ジャーナル）
 - サンプルジャーナル情報
 - 学会ID：S999999
 - 学会・団体名：空飛ぶスパゲッティ・モンスター研究会
 - ジャーナルID：J999999
 - ジャーナル名：SPA-MON
 - ジャーナル英語名：SPA-MON
 - ジャーナルURL：<https://www.spa-mon.org>
 - ISSN-L：9999-9999
 - EISSN：9999-9999
 - OAタイプ：購読モデル
 - ポリシーURL：<https://www.spa-mon.org/copyright>
 - 著作権者（出版社版）：学会/出版社
 - 掲載可否（出版社版）：OK
 - 掲載場所（出版社版）：非営利であればどこでもOK
 - エンバーゴ（出版社版）：発行後6か月 ※免除規定なし
 - 掲載条件（出版社版）：著作権表示、出典表示、出版社ページへのリンク表示
 - 著作権者（著者最終稿）：学会/出版社
 - 掲載可否（著者最終稿）：否
 - 掲載可否（プレプリント版）：否
- 新SCPJ（β版）

更新作業の省力化

- 現行SCPJ
 - フォームから提供されたデータを担当者が確認し、登録・修正箇所をデータベースへ転記して更新
- 新SCPJ
 - フォームから提供されたデータを担当者が確認し、フォーム連携スプレッドシートのチェック欄を埋めるだけで半自動的に更新



今後の活動予定

【2024年度】

- ポリシーURLの疎通確認&更新
- 学協会へのアウトリーチ
- 新規フォーマットに沿ったポリシーの検討と共有依頼
- ポリシー策定ガイドラインの提供

【2025年度以降】

- データ連携（API提供等）の検討
- 機関リポジトリ担当者との更新協力体制の検討

今後の活動予定【2024年度】

- 学協会向けの著作権ポリシー策定ガイドライン作成 <進行中>
国内では学協会内で著作権ポリシーの検討が進んでおらず、非OA寄りの著作権ポリシーを設定したり、ポリシーを設定できていないケースも多い。著作権ポリシー策定ガイドラインを作成し、ポリシー設定の具体的なメリットを説明することで議論を促すとともに、より多くの学協会にオープンアクセスに理解のある姿勢を促す。
- SCPJ登録学協会への再調査及びOA対応への協力依頼
SCPJの項目変更に伴い、改めて各学協会へポリシー調査を実施する。再調査にあたっては、上記ガイドラインを示し、ポリシーがない学協会にはポリシー作成を促し、整備済みの学協会には新規SCPJ項目に対応した内容への改訂を依頼する。

今後の活動予定【2025年度以降】

- データ連携（API提供等）の検討
JPCOARへの移管前はAPIを提供していたが、Googleスプレッドシートへの移行に伴って提供がなくなった（※）。SHERPA/RoMEOはAPIを提供しており、SCPJのAPIがあれば統合的なポリシー確認ができるようになる余地がある。
新SCPJが本運用に移行したのち、提供に向けて具体的に検討する予定。

※島根大学附属図書館さんが独自に開発したSCPJ検索ツールではAPIを提供中
(https://app.lib.shimane-u.ac.jp/policy_checker/about_scpjApi.html)

- Q. SHERPA/RoMEOへのデータ寄託はしないのか？
 - ウェブサイトが日本語非対応
 - 現在は出版社からの掲載リクエストのみ受け付けるとのこと
 - <https://v2.sherpa.ac.uk/romeo/contact.html>
- まずはデータ項目の互換性を高める

今後の活動予定【2025年度以降】

- 機関リポジトリ担当とのメンテナンス協力体制の構築
学協会へのポリシー確認は各機関のリポジトリ担当者でも行われており、その確認成果をSCPJに取り込み共有できれば、データの更新頻度を高めることができる。



新SCPJ(β 版)及び関連資料へのご意見お待ちしております

- <https://forms.gle/x9dMZtCYBnYTSVRo8>
- アンケート期間：**2024年10月25日**まで
- 資料リンクとアンケートフォームは、JPCOAR公式サイトの下記お知らせ参照
 - 「2024年9月18日 新SCPJ(β 版)関連資料公開及びSCPJ リニューアル説明会(2024年度第4回JPCOAR Webinar)開催について」